

接触場面における学習者と母語話者の語彙は どこが異なるのか？

—「日中Skype会話コーパス」の分析—

中俣尚己（京都教育大）

1. 日中Skype会話コーパスとは？

A. 真正性の高い接触場面会話コーパスです。

- 2012年5月～7月に、東京・実践女子大学と長沙・湖南大学の学生間で行ったSkypeを利用した遠隔日本語会話活動を録音、文字化したコーパス。
- ◆中国人学習者は全員2年生。日本人は3年生～M1。性別は全員女性。
- ◆9ペア。38会話。総会話時間46:48:35。1会話あたり平均1:13:55。
- ◆語数は約20万語。（後述の「雪だるま」で解析）

以下の4つの特徴を持つ。

真正性がもたらすもの
表1 「あさってテスト」

語	KYコーパス	Skypeコーパス
明後日	0	7
木曜	6	41
すごい	77	211
すごく	190	86
すげえ	0	4

特徴1：真正性がある

コーパスを作るためではなく、会話活動を通して日本語学習・研究への意欲を持つことが目的。

特徴2：縦断的データ

1週間に1回、継続的に会話活動を行った。1ペアにつき最大7回分のデータを収録。

特徴3：電話場面

終結部は電話場面と同じ構造。コミュニケーション・ブレイクダウンや沈黙も。

特徴4：話題の指定

「ポップカルチャー」「料理」「家庭」「故郷」「敬語」「伝統行事」「夏休み」「大学生活」

2. 学習者と母語話者の語彙量に違いは？

A. ありません。

- ◆ 単語解析機「雪だるま」(<http://snowman.jnlp.org/>)にて解析した。→形態素ではなく日本語教育むきの単位で出力する。「かもしれない」や「勉強する」が1語になる。

表2 学習者と母語話者の語彙量の比較(記号を除く。)

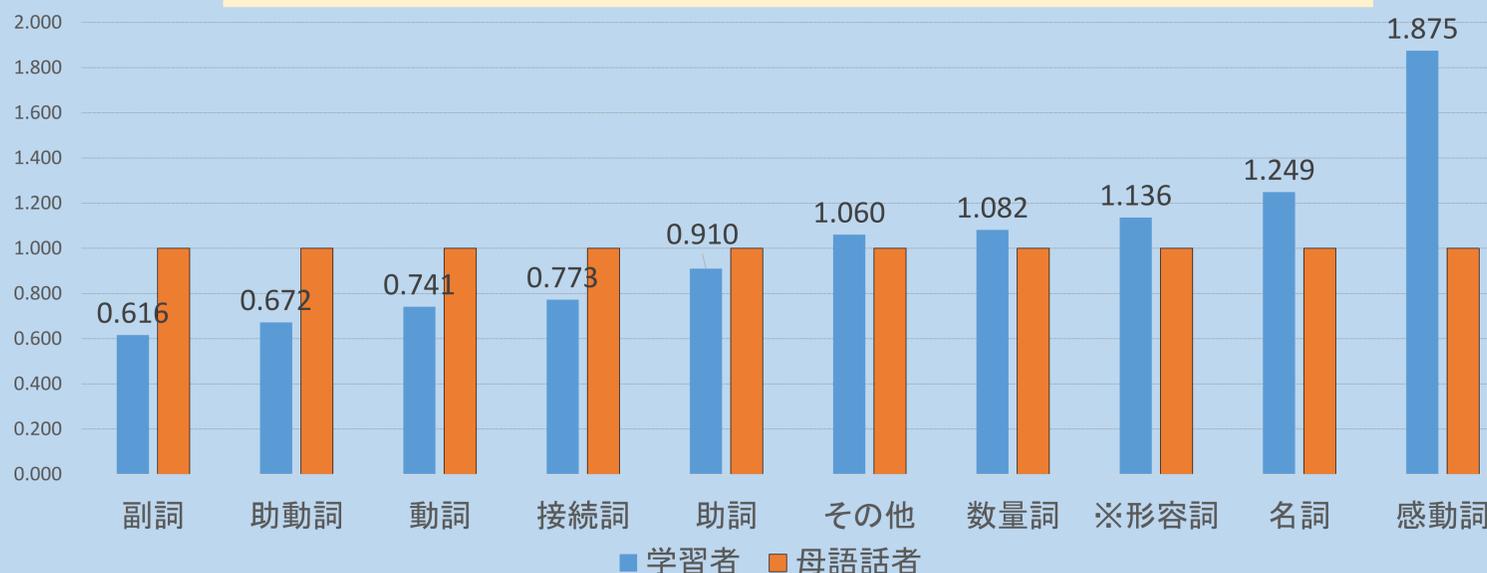
	学習者	母語話者
Token頻度	104,156	100,325
Type頻度	5,434	5,217
TTR	0.052	0.052

NS/NNSの違い<
話題の違い

3. 品詞別に違いを見るとどうですか？

A. 実質語には差はなく、機能語には差が見られるという傾向があります。

図 品詞ごとの母語話者を1とした時の学習者のToken頻度の割合



実数

	学習者	母語話者
副詞	3,477	5,646
助動詞	9,693	14,421
動詞	7,807	10,531
接続詞	578	748
助詞	26,510	29,133
その他	1,389	1,310
数量詞	1,416	1,309
形容詞	7,002	6,163
名詞	23,853	19,098
感動詞	22,431	11,966

4. 学習者と母語話者で最も違いが見られる品詞は？

A. 副詞です。

- 学習者の副詞の使用は母語話者の60%にとどまるが、個別の語を見ても、学習者と母語話者の間に大きな違いが見られる。

表3 学習者に多い副詞

	学習者	母語話者
とても	159	19
いろいろ	95	37
つまり	35	1
もし	77	27
一番	104	53
ずっと	54	16
ただ	29	7
きっと	26	6
特に	19	5

表4 母語話者に多い副詞

	学習者	母語話者
そう	623	1842
こう	34	303
結構	8	133
なるほど	9	63
やっぱり	21	101
ちゃんと	2	36
とりあえず	0	16
もう	142	327
割と	0	9

5. 実質語に差が見られないのはなぜですか？

A. 意味交渉の結果と考えられます。

- 接触場面における意味交渉の結果、学習者は実質語をインテイク、アウトプットするため結果として語彙は同じになる。副詞はインテイクが起こらない品詞と考えられる。

J: (略) パスタ、日本料理じゃなくて、パスタ。<うーん>パスタ分かります? パスタ。
C: さった? [サラダ?]
J: [パスタ。<うん>パスタ。
C: んー?
J: 待ってね。《ポーズ 8秒》日本料理じゃないですよ、もう。パスタ。
C: ああ、パスタ。<うん>ピザですね。ん? ピザです。
J: あ、麵。ピザとはちょっと違うかな。<うーん>麵、<麵>のパスタとか。[うん。
C: ああー。
J: ピザとか、お昼とかはそういうのみんな食べますね。今の若い子たちは。
C: このパスタは<うん>食材はなんですか。うーん。
J: 麵です。パスタ。パスタ。<麵>パスタ。知らない? うん。[あ。
C: [麵ですか。ああー。

6. 他にも面白いことがありますか？

A. あります。ぜひ使ってください。

表5 否定の応答表現

	学習者	母語話者
いいえ	33	2
いえ	45	59
いや	30	58

◆ 学習者の「いいえ」

J: 中国でもお花見があるんですか。
C: い、いいえ。[ありません。

◆ 母語話者の「いいえ」

C: あ、さっき授業から、<うん>うーん帰ってきて、●いたら、あ、急いですいません。
J: いいえ。大丈夫です。あ、私はちょっと。

- 学習者は疑問に対する応答に使っているが、母語話者は「いいえ」を感謝・謝罪に対して使う。

◆ 「Skypeコーパス」で検索して、ダウンロードしてみてください!